

# 第116期 中間報告書

[平成27年4月1日～平成27年9月30日]

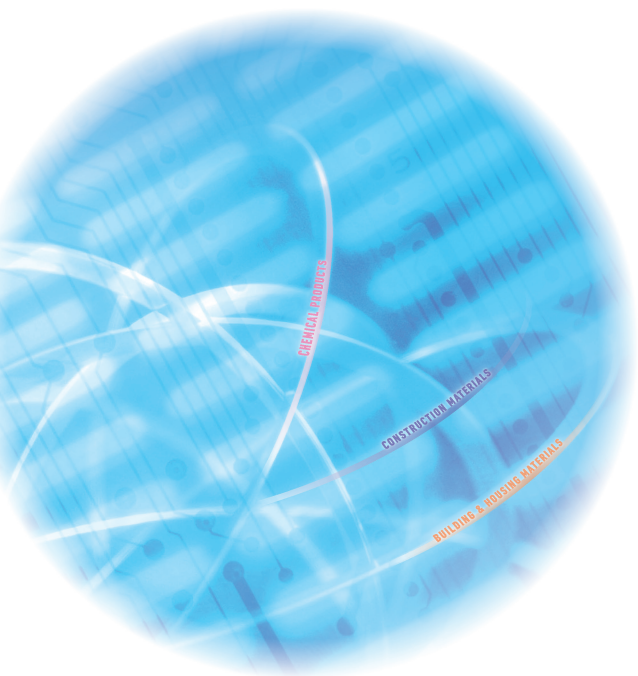
CHEMICAL PRODUCTS

CONSTRUCTION MATERIALS

BUILDING & HOUSING MATERIALS

**アイカ工業株式会社**

証券コード 4206



## CONTENTS

---

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 財務情報	5
連結決算	
連結貸借対照表／連結損益計算書	
連結キャッシュ・フロー計算書	
■ 企業活動のご案内	7
■ 会社の概要	8
■ 株式の状況	9
■ 株主メモ	10

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社グループ第116期第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)の営業の概況をご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善が進み、企業の設備投資が増加する一方で、中国経済の減速懸念やアジア新興国での成長鈍化、欧州経済の不安要素など、海外経済の減速による下振れリスクが依然として残り、景気は先行き不透明な状況が継続しています。

国内建築市場におきましては、住宅着工は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が一巡したものの、非住宅関連につきましては、人手不足や資材の値上がりなどに伴う建設費の高騰や工事の遅れが一部顕在化し、本格的な回復には至っておりません。

このような経営環境の下、当社グループは、医療・介護施設をはじめとする非住宅市場およびリフォームなどの成長分野に対する営業活動の強化、イカ・アジア・パシフィック・ホールディング社およびその子会社とのシナジーの追求、アジア地域におけるメラミン化粧板販売の強化、機能材料事業の強化などを推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高69,691百万円(前年同四半期比1.9%増)、営業利益7,212百万円(前年同四半期比3.8%増)、経常利益7,638百万円(前年同四半期比4.0%増)、

親会社株主に帰属する四半期純利益4,608百万円(前年同四半期比13.0%減)となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては1株につき21円とさせていただきます。

今後の景気動向につきましては、雇用・所得環境の改善傾向が続き、原油価格下落の影響や各種政策の効果などを背景に緩やかな回復基調が継続することが期待されますが、海外経済の減速による景気の下振れリスクが残っています。

当社グループは、このような経営環境を十分認識し、医療・介護施設およびリフォームなどの成長分野に対する営業活動の強化、海外事業と機能材料事業の強化による更なる成長の実現、顧客ニーズにマッチしたスピード感ある新商品開発を行ってまいります。

当社グループは、コンプライアンス(法令遵守)とCSR(企業の社会的責任)を重点方針に掲げ、社会から一層信頼される企業を目指し邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申しあげます。

平成27年12月



代表取締役社長

小野勇治



## 化成品セグメント

接着剤系商品は、国内の木工・家具向け汎用接着剤、施工用接着剤、合板用・集成材用接着剤が前年を下回りましたが、海外では、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の子会社が、アジア太平洋地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができた結果、売上・利益を伸ばすことができ、連結業績に大きく寄与いたしました。

樹脂系商品は、橋梁などの補修・補強材「ジョリシール」、「ダイナミックレジン」が順調に推移いたしました。外装・内装仕上塗材「ジョリパット」や、住宅ベランダ向け防水材は苦戦したことから、低調な結果となりました。

非建築分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、電子材料が順調に推移いたしました。有機微粒子や自動車向け接着剤が低迷した結果、同事業全体としては前年を下回りました。

なお、昭和電工株式会社のフェノール樹脂事業を譲受けたアイカSDKフェノール株式会社については、9月1日より連結業績に組み入れております。

このような結果、売上高は37,024百万円(前年同四半期比3.2%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は2,515百万円(前年同四半期比16.5%増)となりました。



**ジョリパット**  
(外装・内装仕上塗材)  
物件名：JR九州ホテル  
ブラッサム博多中央



**ジョリシール**  
クイックインジェクター JB-QS2  
コンクリートひび割れ  
低圧注入工法

## 建築材セグメント

建築材セグメントの主力市場である非住宅市場では、教育施設需要が振るわない中、商業施設や公共施設の新築やリニューアルに注力した結果、売上は堅調に推移いたしました。

汎用的な化粧板や化粧ボードが苦戦しましたが、高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性を持つメラミン化粧板「セルサス」が順調に推移いたしました。また、粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」はアイテムを大幅に拡充したことで大きく売上を伸ばすことができました。また、海外においてもインド、中国、東南アジア諸国を中心に売上を伸ばすことができました。

なお、高感度なデザインを表現したメラミン化粧板の新ブランド「+Wonder(プラスワンダー)」は店舗・商業施設などの壁面やテーブルの天板などで採用され、好評をいただいています。

このような結果、売上高は15,428百万円(前年同四半期比4.6%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は3,186百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。



**CEL SUS**  
(セルサス)  
メラミン化粧板

物件名：光文書院  
設計：GRIP&Co.  
佐々木 健  
撮影：梶原敏英



**Altyno (オルティノ)**

物件名：医療法人尾張温泉かえり病院  
設計：中日設計株式会社



## 住器建材セグメント

不燃化粧材「セラール」は、注力しているリフォーム・リノベーション市場において採用が増加しましたが、新築住宅向けキッチンパネル用途や、医療・介護施設、教育施設向け壁用途において苦戦したことから、前年を下回りました。

集合住宅向けのメラミン扉は堅調なマンション市場に連動して売上を伸ばすことができましたが、メラミン化粧板を曲面加工したポストフォームカウンターは前年を下回りました。

インテリア建材は、戸建住宅向けドア「マールスⅡクラスSシリーズ」がトレンド柄を活かした意匠とサイズ対応力を評価され売上を伸ばしたものの、医療・介護施設向け機能引戸「U.D.(ユニバーサルデザイン)コンフォートシリーズ」が医療・介護施設の建築減少の影響をうけ苦戦いたしました。

このような結果、売上高は17,238百万円(前年同四半期比2.8%減)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は2,505百万円(前年同四半期比9.1%減)となりました。



### CERARL (セラール)

物件名：下仁田厚生病院  
設計：横河・亦野  
建築関連企業体



メラミン扉  
メラスクープ扉(J型)・アクセントライン

## 東京ショールーム「スペースφ」のご案内

東京ショールーム「スペースφ」は、練馬から新宿へ移転し平成27年10月15日、装いも新たにオープンいたしました。

メラミン化粧板、セラール、オルティノなどの柄を原寸大で確認できるマルチモニターや、様々な環境を再現するLED調光システムを導入するなど「見て・触って・体感できる」ショールームになっています。



アイカ東京ショールーム スペースφ  
東京都新宿区西新宿2丁目4番1号 新宿NSビル22階  
電話 03-6770-2012  
営業時間 9時～17時(土曜日のみ10時～17時)  
休館日 日・祝日・夏休み・年末年始



## 連結決算

### ● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (平成27年9月30日現在)	前 期 (平成27年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>93,723</b>	<b>96,670</b>
現金および預金	36,640	35,220
受取手形および売掛金	41,433	45,692
たな卸資産	11,347	11,508
その他	4,574	4,523
貸倒引当金	△272	△273
<b>固定資産</b>	<b>49,514</b>	<b>50,346</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>28,880</b>	<b>28,318</b>
無形固定資産	5,860	6,621
投資その他の資産	14,772	15,406
その他	14,788	15,406
貸倒引当金	△15	—
<b>資産合計</b>	<b>143,237</b>	<b>147,017</b>

科 目	当第2四半期 (平成27年9月30日現在)	前 期 (平成27年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>28,798</b>	<b>34,655</b>
支払手形および買掛金	16,077	18,400
電子記録債務	3,540	4,674
短期借入金	1,228	1,429
未払法人税等	2,262	2,566
賞与引当金	1,318	1,469
その他	4,371	6,115
<b>固定負債</b>	<b>4,657</b>	<b>5,134</b>
長期借入金	1,206	1,426
退職給付に係る負債	719	684
その他	2,731	3,023
<b>負債合計</b>	<b>33,456</b>	<b>39,790</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>97,794</b>	<b>94,659</b>
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,271	13,270
利益剰余金	76,635	73,527
自己株式	△2,004	△2,030
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>7,659</b>	<b>8,523</b>
その他有価証券評価差額金	3,003	3,511
繰延ヘッジ損益	1	△8
為替換算調整勘定	4,472	4,845
退職給付に係る調整累計額	182	174
<b>新株予約権</b>	<b>36</b>	<b>67</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>4,290</b>	<b>3,976</b>
<b>純資産合計</b>	<b>109,780</b>	<b>107,226</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>143,237</b>	<b>147,017</b>

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
	(平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)	(平成26年4月1日～ 平成26年9月30日)
売上高	69,691	68,358
売上原価	50,409	50,061
売上総利益	19,281	18,297
販売費および一般管理費	12,069	11,345
営業利益	7,212	6,952
営業外収益	742	638
営業外費用	316	247
経常利益	7,638	7,343
特別利益	—	1,381
税金等調整前四半期純利益	7,638	8,724
法人税、住民税および事業税	2,450	3,023
法人税等調整額	170	△15
四半期純利益	5,017	5,716
非支配株主に帰属する四半期純利益	408	419
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,608	5,297

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書

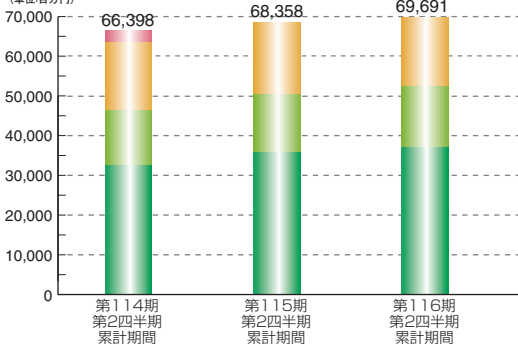
(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
	(平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)	(平成26年4月1日～ 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,487	6,697
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,603	911
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,321	△644
現金および現金同等物に係る換算差額	△140	△101
現金および現金同等物の増減額	1,420	6,862
現金および現金同等物の期首残高	35,220	23,772
現金および現金同等物の四半期末残高	36,640	30,634

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

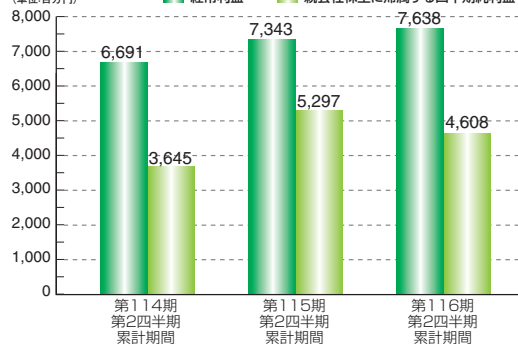
## ● 売上高

(単位:百万円)



## ● 経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位:百万円)





## 中期経営計画目標達成に向けた事業強化

当社グループは、平成29年3月期を最終年度とする中期経営計画において、「改修・リフォーム・医療介護など成長分野への取り組み強化と用途開拓による国内中核事業の持続的成長」、および「海外事業・機能材料事業の展開加速を通じた事業構造の変革」を経営戦略として掲げております。

この戦略の下、平成27年9月に昭和電工株式会社のフェノール樹脂事業を承継した「アイカSDKフェノール株式会社」の株式を譲受けました。同社のフェノール樹脂事業は、長い歴史に培われた高い技術力と、建築用途のほか自動車、鉄鋼、塗料、電子材料など幅広い用途の製品群を有しています。当該対象事業の技術力と製品群を海外拠点に展開することで、中国・東南アジア地域におけるフェノール樹脂事業の強化を図るとともに、国内外市場の非建

築用途向けビジネスの一層の拡充を推進し、化成品事業全体の更なる構造変革と成長を実現してまいります。

また、10月には、三菱マテリアル建材株式会社の事業を承継した「アイカテック建材株式会社」の株式を譲受けました。同社の「押出成形セメント板事業」「けい酸カルシウム板事業」「多機能建材事業」は、長い歴史に培われた競争力のある商品群と耐火・不燃性能を中心とした高い技術力を有しています。今後さらに重要性が高まることが予想される内装用不燃建材の一層の拡充、セメント板などの耐火材の販売による外壁市場向け事業の強化、ならびに当社の有機系技術と新会社の無機系技術との融合による新商品の開発などを進め、当社の中核事業である国内建設市場向けビジネスの持続的成長を実現してまいります。



アイカSDKフェノール株式会社  
工業用フェノール樹脂  
<研磨布紙用>



アイカテック建材株式会社  
押出成形セメント板「メース」採用物件  
<梅田阪急ビル(大阪府)>  
設計：株式会社日建設計  
施工：株式会社大林組

## プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電話 052(409)8000(代表)
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万円
- 事業所

[生産拠点] 本社工場(愛知県) 甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県) 広島工場(広島県)

茨城工場(茨城県) 丹波工場(兵庫県)

[開発拠点] R&Dセンター甚目寺研究所(愛知県)

R&Dセンター丹波研究所(兵庫県)

R&Dセンター茨城研究室(茨城県)

[営業拠点] 札幌支店 仙台支店 盛岡支店

東京支社 埼玉支店 横浜支店

千葉支店 北関東支店 宇都宮営業所

新潟営業所 名古屋支店 静岡支店

金沢支店 大阪支店 神戸支店

京都営業所 広島支店 岡山営業所

四国支店 福岡支店 鹿児島支店

### ■主要製品

[化成品セグメント]

外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

[建装材セグメント]

メラミン化粧板、化粧合板

[住器建材セグメント]

室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材

### ■連結子会社

- [会社名] アイカインテリア工業株式会社(愛知県)  
 アイカハリマ工業株式会社(兵庫県)  
 アイカSDKフェノール株式会社(群馬県)  
 西東京ケミックス株式会社(東京都)  
 アイカインドネシア社(インドネシア)  
 テクノウッド社(インドネシア)  
 昆山愛克樹脂有限公司(中国)  
 瀋陽愛克浩博化工有限公司(中国)  
 愛克樹脂貿易(上海)有限公司(中国)  
 アイカ・ラミネーツ・インディア社(インド)  
 アイカベトナム社(ベトナム)  
 アイカ・アジア・パシフィックホールディング社(シンガポール)

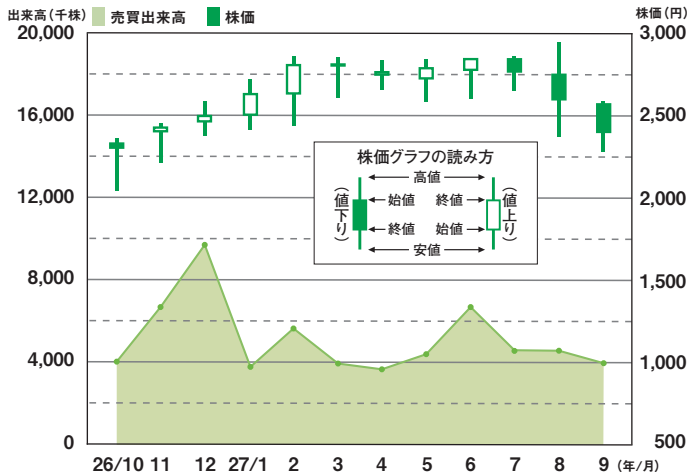
## 取締役・監査役および執行役員

- [代表取締役社長] 小野 勇 治  
 [専務取締役] 伊 東 善 光  
 [常務取締役] 百 々 聡  
 [取締役] 岩 瀬 幸 廣  
 [取締役] 大 村 信 幸  
 [取締役] 小 瀬 村 久  
 [取締役] 森 良 二  
 ◎[取締役] 小 倉 健 二  
 [常勤監査役] 岩 田 照 徳  
 [常勤監査役] 森 永 博 之  
 ○[監査役] 松 浦 洋  
 ○[監査役] 加 藤 正 和  
 ○[監査役] 花 村 淑 郁  
 [上席執行役員] 堀 田 益 之  
 [上席執行役員] Per Haga(ペア ハガ)  
 [執行役員] 加 藤 義 久  
 [執行役員] 加 藤 義 昭  
 [執行役員] 村 瀬 元 康  
 [執行役員] 石 井 直 美  
 [執行役員] 天 野 利 通  
 [執行役員] 倉 本 寛 直  
 [執行役員] Chew Teck Liong(チュー テクリョン)  
 [執行役員] 吉 村 利 康  
 [執行役員] 岩 塚 祐 二

(注)◎印は社外取締役、○印は社外監査役であります。

## ● 発行済株式の総数…67,590,664株

### 株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)



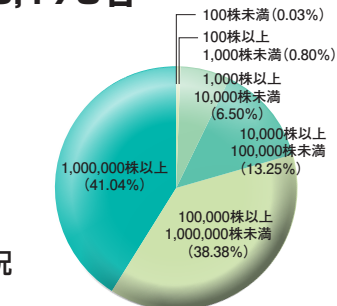
### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,014	4.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,009	4.61
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE-HSD00	2,222	3.40
アイカ工業取引先持株会	1,936	2.97
アイカ工業株式保有会	1,585	2.43
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	1,513	2.32
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	1,435	2.20
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,332	2.04
住友生命保険相互会社	1,318	2.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,300	1.99

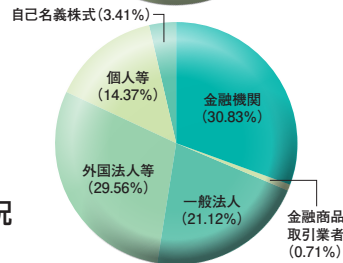
※当社は、自己株式2,302千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。持株比率は、自己株式2,302千株を控除して計算しております。

## ● 株主数…5,170名

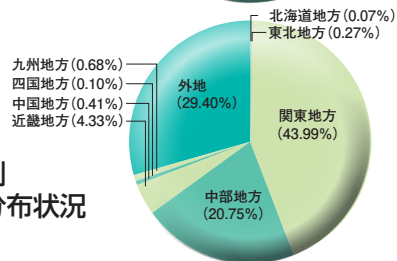
### 所有株数別 株式分布状況



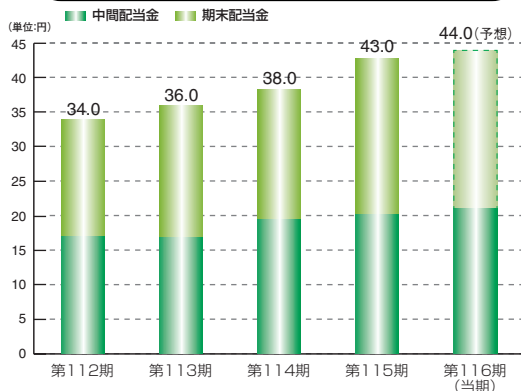
### 所有者別 株式分布状況



### 地域別 株式分布状況



### 配当金の推移





## 株主メモ

■事業年度	4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■定時株主総会	毎年6月
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■特別口座管理機関	
■同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
■上場証券取引所	東京・名古屋
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL <a href="http://www.aica.co.jp/">http://www.aica.co.jp/</a>

## (ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

## 【株式に関するお手続きについて】

## ●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>●単元未満株式の買取(買増)請求</li> <li>●住所・氏名等のご変更</li> <li>●特別口座の残高照会</li> <li>●配当金の受領方法の指定※</li> </ul>	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>●支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>●株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手続き書類のご請求方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料)</li> <li>●インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a></li> </ul> </div>

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

## ●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>●支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>●株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

**AICA**

カガクとデザインで面白いこと



地球温暖化防止活動の一環として、この印刷物を作成する際に排出されたCO<sub>2</sub>は、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じ、環境省で認定された排出権(宮城県米川生産森林組合有林間伐促進森林吸収プロジェクト)によりカーボンオフセットされております。

